

高齢者等のための地域コミュニティ活動拠点づくり

総務協働委員会



▲香川県善通寺市

の負担軽減や高齢者の生きがい作りに繋がっているとのことでした。愛西市には、「コミュニティセンターや地域集会所がたくさんあります。今後、有効利用の検討が重要です。」

■大規模太陽光発電事業の費用対効果は

兵庫県小野市では、介護予防からも高齢者の活動の場が必要と、平成23年度から市内9自治会の自治会館のバリアフリー化を行い、平成27年度から地域の「社会奉仕活動」「健康推進活動」「教養講座開催活動」に、年間予算を一千万円とり、補助をしています。やる気のある市民に活動の場が提供できており、自治会長

香川県善通寺市では、国が平成24年から再生エネルギー固定価格買取制度を始めたことから、遊休市有地を活用したメガソーラー導入の協議をはじめ、平成27年から始動しています。年間利益は、約3千万円。

女性消防士の採用により、市民の安心確保

福祉消防委員会

長野県佐久広域連合消防署では、5名の救急救命士を含む6名の女性消防士が勤務しています。「通報時に、女性の声を聞いて落ち着いて話せた」「ぬくもりのある消防署になった」「女性ならではの疾病や妊婦の搬送は、女性救命士だと安心」などの住民からの評価が得られているそうです。

■結婚支援事業は、少子化対策

また、結婚・出産後も勤務が続けられるように、育児への配慮がされていきました。

長野県佐久市では、婚活を福祉部局で実施しています。

市民により実行委員会を立ち上げ、列車を使ったイベントや、自分の見栄えをよくする方法の講座など誰もが参加したくなる企画ばかりで、いつも定員オーバーとなり抽選になるそうです。東京や富山からの参加者もあり、5回のパーティーで23組のカップルができたとのこと

奈良県宇陀市議会では、平成29年3月からタブレットを導入した議会運営がスタートしました。

議員にタブレット端末を貸与し、議会活性化

議会運営委員会



▲奈良県宇陀市

共有
資料のペーパーレス
これらを行うことにより、印刷・資料準備などの人件費等の経費削減効果もあげているとのことでした。

海部地区でも導入自治体が増えてきました。愛西市議会の今後の課題です。

■災害時の議会対応は

大阪府八尾市議会では、

は、「大規模自然災害発生時の対応要領」を作成。災害時の安否や連絡先の報告義務を定め、「八尾市議会災害対策会議」を常設にすることにより、災害時にスムーズに議会としての判断ができる体制が整備されています。



▲長野県佐久広域連合消防本部

また、結婚・出産後も勤務が続けられるように、育児への配慮がされていきました。

大阪府八尾市議会では、

は、「大規模自然災害発生時の対応要領」を作成。災害時の安否や連絡先の報告義務を定め、「八尾市議会災害対策会議」を常設にすることにより、災害時にスムーズに議会としての判断ができる体制が整備されています。